DST-i

スタンダードソフト
取扱説明書

【DST-iスタンダードソフトをご利用にあたって】

・作業サポートのメニューには、選択した車両ではサポートしていない作業サポート項目も表示されます。
・DST-iで対応している作業サポート項目であっても、車種や年式によっては対応していない場合があります。
・作業サポート機能をご利用になる場合には、車両の修理書およびDST-i画面に表示される内容に従って、正しく実施してください。

株式会社デンソー

重要

Product Name: DST-i Standard Software
Number of License: One

お客様へ：

以下のソフトウェア使用許諾契約（以下「本契約」）を注意してお読み下さい。ソフトウェア使用許諾契約は契約書です。製品のソフトウェア「DST-i スタンダードソフト」及びその関連資料は、著作権法及び国際条約の条項によって保護されています。お客様は、製品またはその一部をインストールまたは使用する前に本契約に同意する必要があります。もし、お客様が本契約の条項を承諾されない場合、お客様は本製品を使用することができません。

ソフトウェア使用許諾契約

製品のソフトウェア「DST-i スタンダードソフト」及びその関連資料（以下「本ソフトウェア」）は、株式会社デンソー（以下「弊社」）またはそのライセンサーの著作物です。本ソフトウェアは、以下の条項への同意により弊社からお客様に使用許諾されるものであり、販売または譲渡されるものではありません。
お客様が個人で本ソフトウェアを使用される場合、「お客様」は個人を意味します。お客様が職員、従業員、代理人またはその他社員（関連会社の社員）として本ソフトウェアを使用される場合、「お客様」は法人を意味します。本契約は、お客様が本契約に同意した日をもって発効するものとします。

１．許諾権利

弊社は、お客様に対して、お客様が車載電子制御システムの故障診断を行う目的（以下「本目的」）の為に、本ライセンスに対するライセンス契約から1年間、本ソフトウェアを１台のDST-iハードウェア（以下「本ハードウェア」）にインストールし、使用する権利を許諾します。

２．制限

(1) お客様は、本目的以外の目的の為に、本ソフトウェアをインストールまたは使用することはできません。
(2) お客様は、本ソフトウェアを、複数のハードウェアにより使用することはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸与、レンタル、リース、販売、再実施許諾またはその他の方法で第三者（お客様が本契約と全てのソフトウェアを譲渡し、譲受人は永久に本契約の全ての条項に同意するとしても）に移転することはできません。
(4) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、複製、併合、改変または変換することはできません。
(5) お客様は、本ソフトウェアの構成要素からデンソーの著作権や登録商標、その他の所有者の情報を取り除いて不明瞭にすることはできません。
(6) お客様は、(i)核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイル兵器等の大量破壊兵器の設計、開発、製造、蓄積及び使用(ii)その他、軍事活動への使用(iii)これらの活動を援助するいかなる使用、を含む国際的な平和と安全を脅かす目的での使用に関して、デンソーから提供されたソフトウェアおよび技術、その他の製品の製造または開発に関わるソフトウェアおよび技術を使用する事はできません。
(7) お客様は、上記の活動に関する知識や推察力のある第三者や上記の活動に関与するいかなる者に、直接的にも間接的にも本ソフトウェアを販売や輸出、使用許諾、貸与、譲渡、開示またはその他の手段で提供する事はできません。
(8) お客様は、本ソフトウェア、関連技術その他一切の情報およびその複製物を、日本国法および関連省令或いは条例が禁止する国或いは地域へ直接或いは間接的に持ち出すこと、或いは輸出することはできません。
(9) 本ソフトウェアを日本国外で使用することはできません。
(10) お客様は、弊社の公式ウェブページから本ソフトウェアを違法にダウンロードしてはいけません。もし違法にダウンロードした場合は、アクセスキーが無効になります。

３．契約違反

本ソフトウェアを権限なくインストール、複製または使用することは厳正な民事裁判の結果、刑罰を生じる可能性があり、最大限可能な範囲で告訴します。
お客様が、本契約の条項に違反した場合、お客様の所持する全ての媒体から本ソフトウェアを消去または破棄するものとし、本契約で許諾されるお客様の全ての権利は、自動的に解除されるものとします。この場合、当該解除は弊社のお客様に対する損害賠償請求を妨げるものではありません。

４．免責

本ソフトウェアは、いかなる保証も付されず「現状のまま」で提供されるものです。弊社による本ソフトウェアの提供または本契約下の権利許諾は、第三者の知的財産権を侵害しないことを保証するものではありません。弊社は、本ソフトウェアの特定用途への適合性及び商品性を保証しません。弊社は、本ソフトウェアの瑕疵に関していかなる責任も負いません。弊社は、本ソフトウェアまたはその一部に起因して発生する、或いは本ソフトウェアをインストール、使用するまたは使用できないことに起因して発生する直接的、間接的、特別、付随的、派生的またはその他一切の損害について賠償責任を負いません。

５．準拠法

本契約は、その有効性、解釈及び履行を含め、全ての事項に関して、法律上の紛争に関わらず日本国法に準拠するものとします。

６．仲裁

本契約に起因するいかなる紛争でも、国際商業会議所の調停と仲裁のルールに従った仲裁により最終的に解決するものとします。仲裁裁判の裁定は最終的かつ当事者を拘束するものとします。仲裁裁判は、日本の東京で執り行います。

はじめに

このたびは、DST-i スタンダードソフト（以下、「DST-i スタンダードソフト」）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

DST-i スタンダードソフトは、DST-i（以下、「DST-i」）の LCD 付きモデル用ソフトウェアです。
DST-i の LCD なしモデルおよび DST-i 以外のハードウェアでは使用できません。
DST-i スタンダードソフトをご利用になるには、SD メモリーカードが必要になります。
DST-i セットに同梱されている SD メモリーカードをご使用ください。

安全にお使いいただくために

- 本製品は、適切な訓練を受け、技能を身につけた自動車専門技術者により使用されるものです。以下、取扱説明書を通じて示されている安全メッセージは、本製品を使用する際に十分注意すべきことを使用者に促すものです。
- 車両の診断・整備には、作業を行う個人の技能とともに、多種多様な作業手順、技術、工具、部品などを使用し様々な結果が考えられるため、それらすべての状況を網羅するアドバイスや安全メッセージを提示することはできません。従って、診断システムについて十分な知識を持つことは自動車専門技術者の責任です。適切な診断・整備の方法や処置のために活用し、あなたの安全、作業場にいる他の人の安全、加えて、診断する車両や装置の安全を損なわないよう、適切な方法で作業を行うことが重要です。
- 本製品を使用する前提として、使用者は車両システムを十分理解しているものと想定しています。本製品を、適切、安全、正確に使用するためには、本製品の操作方法だけでなく、車両システムの原理も十分理解することが必要です。

本書では、警告・注意を促す内容や禁止の行為に記号を用いています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な事故に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的傷害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
禁止	取扱いにおいて、禁止となる行為。
強制	取扱いにおいて、遵守しなければならない行為。

製品取り扱い上の警告・注意

⚠警告

- 「安全な診断を行うためには」に記載されている注意事項に従い、診断・修理作業を実施してください。
  参照：P.v 安全な診断を行うためには（安全にお使いいただくために）
- 本製品を使用する前には、診断する車両または装置のメーカーにより提供されている安全メッセージや適用診断手順も参照し、それに従ってください。
  注意事項に従わない場合、事故を引き起こす恐れがあります。
- 走行中に作業をしないでください。
  事故になる危険があります。
- ケーブルは、作業者または運転制御装置に絡まるような取り回し方をしないでください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- 発熱、発火、破裂または感電の原因となりますので、以下のことを必ず守ってください。
  -本製品を分解、改造しないでください。
  -本製品の定格電圧を超える電源に接続しないでください。
  -プローブなどを、定格を超える電圧部分に接続しないでください。

⚠注意

- 作業を実施する前に、車輪に輪止めをして動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- 車両の下などの目に見えにくい場所で作業する場合、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）を OFF にし、車両が絶対に動かないようにしてください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジン始動や車両を移動する際は、周りに他の作業者がいないことを確認してから行ってください。
- ECU やインジェクタには 100V を超える高電圧が発生しています。作業を行う際は、感電に十分注意してください。
- 部品を取り外す際は、バッテリーのアース線を取り外してから作業してください。
- コネクタまたは車両の電気端子を接続したり取り外す際は、特別な指示がない限り、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）を OFF にしてください。
  車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。
- 回転物の近くで作業を行う際は、安全メガネや保護衣服を着用してください。
  回転するエンジンにより、部品等が飛散し、事故を引き起こす恐れがあります。
- エンジンが冷えているとき以外は、ラジエータキャップを取り外さないでください。
  高温で加圧されたエンジン冷却水を浴びる恐れがあります。
- 排気装置、マニホールド、エンジン、ラジエータなどの高温になる部分に素手で触れないでください。
  やけどの原因となります。
- 高温のエンジン・部品を触れたり、扱う際は、手袋を使用してください。
- エンジンの回転中は、本製品のケーブルなどをエンジンルームの上を通して作業しないでください。
  ベルトやプーリーにより、ケーブル・衣類などが巻き込まれ、事故を引き起こす恐れがあります。
- 水がかかるような場所で作業しないでください。
- 本製品を落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品に接続したケーブルで本製品を持ち上げたり、引っ張ったりしないでください。移動や設置の際は本製品を持って移動してください。
- 本製品に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。
  故障の原因となります。
- 使用する前に、本製品に異物の付着やコネクタピンの破損がないか点検してください。

安全な診断を行うためには

- バッテリーの上に金属工具を置かないでください。
- バッテリーの近くでは火花を起こさないでください。
  バッテリーガスが発火する恐れがあります。
- 火のついたタバコ、スパーク、裸火、その他の発火源は、車両およびバッテリーから遠ざけてください。
- バッテリー・ケーブルを取り外す前には、必ずスタータスイッチ（イグニションスイッチ）を OFF にし、ヘッドライトやその他のアクセサリーを OFF にしてください。
- 電気システム・コンポーネントを整備点検する前には、必ずバッテリーのアース線を取り外してください。
- バッテリーは、金属製の装飾品を溶損する程の高い短絡電流を流すことができます。バッテリーの近くで作業する前に、指輪、腕輪、時計などの装飾品を取り外してください。
  事故を引き起こす恐れがあります。
- バッテリーを取り扱う作業者や近くで作業している人は、安全メガネや保護手袋を使用してください。
- バッテリーを取り扱う場合は、近くにたくさんの新鮮な水と石鹸を用意してください。万がーバッテリー液が皮膚、衣類、または目に入った場合は、該当部分を石鹸水で 10 分間洗ってください。そして、直ちに医療機関で診察、治療を受けてください。
- バッテリーの近くで作業している間は、目を直接こすったり、触れたりしないでください。
  バッテリー液により、目や皮膚にやけどをする恐れがあります。
- ジャンパ・ワイヤまたは工具で、バッテリー端子間の電気接続を行わないでください。
- 電力を有しているか、有しているかもしれない電気端子を接地しないでください。
  車両側電気回路の損傷を引き起こす恐れがあります。
- エンジンを始動して作業する際は、排気ガスを強制的に屋外へ排気する設備がある場所で使用してください。
  エンジン排気ガスには、無臭の致死的ガスが含まれており、中毒により、死亡または重傷にいたる可能性があります。
- 地下ピットや密閉された屋内のように、爆発性蒸気が集まる環境で、本製品を使用しないでください。
- 作業中は、喫煙したり、マッチをすらないでください。
  バッテリーガスや爆発性のガスが発火する恐れがあります。
- 診断を行っているときには、引火性のあるスプレーや洗浄用スプレーなどを使用しないでください。
- 万が一の爆発、爆発に伴う火災に備え、ガソリン、化学薬品および電気火災用の乾燥化学消化器を作業場に備えてください。
- 作業者や近くで作業している人は、安全メガネと保護衣服を使用してください。
  車両システムの故障や誤動作により、燃料、油蒸気、高温蒸気、有毒排気ガス、酸、冷媒、その他の異物を排出する恐れがあります。

目次

1 起動と終了

1-1 起動 1
1-2 終了 3

2 DST-i スタンダードソフトの操作

2-1 画面の構成 4
2-2 基本操作 5
2-3 メインメニュー 6
2-4 診断機能 7
車両選択・システム選択 7
車両情報表示 10
故障コード 11
作業サポート 20
2-5 J-OBD Ⅱ専用機能 21
機能選択・システム選択 21
故障コード 24
データモニタ 30
レディネスコード 33
2-6 共通機能（印刷、保存） 35

3 本体設定

明るさ設定 37
ブザー設定 37
プリンタ設定 38

4 エラーが発生したら

4-1 通信エラー 41
4-2 画面のフリーズ 42

5 ショップ情報作成

1 起動と終了

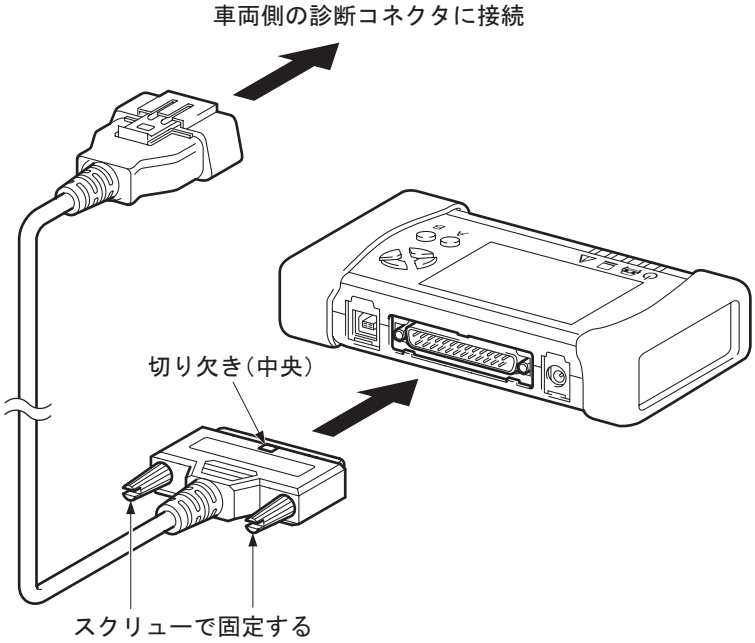
1-1 起動

1. DST-i スタンダードソフトがインストールされた SD メモリーカードを DST-i に挿入します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- SD メモリーカードの挿入については、LCD 付き DST-i 用ハードウェア取扱説明書を参照してください。
- DST-i スタンダードソフトのインストール方法については、ライセンス証に同梱されているクイックスタートガイドまたは DST-i ホームページ (http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html) を参照してください。

2. DST-i と車両側の診断コネクタをデータリンクケーブルで接続します。

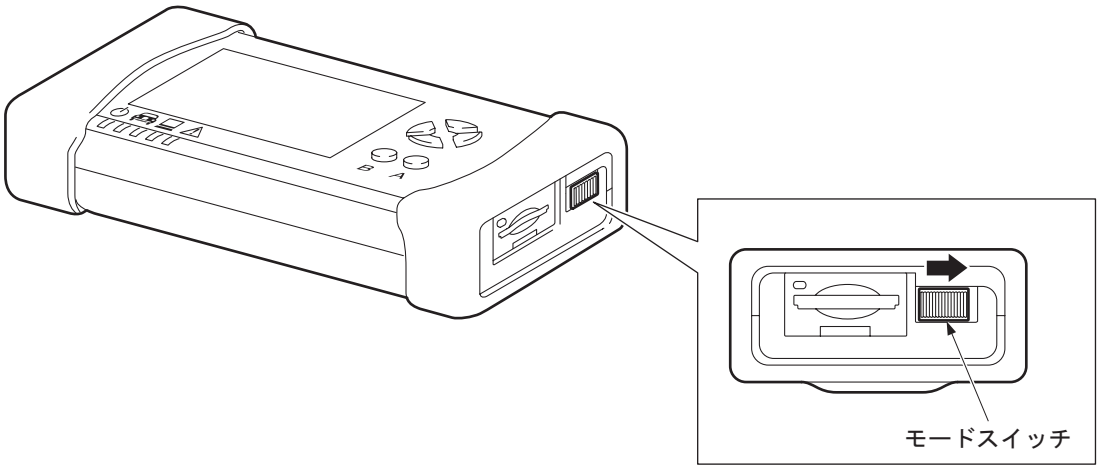


T02005J

⚠注意

- DST-i 専用のデータリンクケーブル以外は使用しないでください。
- 接続する前に、各コネクタに異物の付着やコネクタピンの破損がないか確認してください。
- データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタへ接続する場合は、コネクタの向きに注意し、まっすぐ静かに接続してください。
  誤った向きで接続しようとしたり、傾いた状態で差し込んだ場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- DST-i に接続しているコネクタに荷重をかけないでください。
  荷重をかけた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。

3. DST-i のモードスイッチを ON にします。
オープニング画面が表示されます。



T01897J

T02009J

オープニング画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- モードスイッチを ON にすると、DST-i の電源インジケータが緑に点灯します。

4. 車両のスタータスイッチ（イグニションスイッチ）を ON にします。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車両のスタータスイッチ（イグニションスイッチ）が OFF または ACC の状態では、車両と通信することができません。DST-i を使用する際は、スタータスイッチ（イグニションスイッチ）を ON またはエンジンを始動（HV、EV の場合は READY ON）させてください。

1-2 終了

1. DST-i スタンダードソフトで車両との通信を終了させます。

⚠注意

- 作業サポートでアクチュエータを駆動中に DST-i のモードスイッチを OFF にしたり、データリンクケーブルを取り外したりすると、アクチュエータが駆動状態のままになる場合があります。必ず作業サポートを終了させてから、終了処理してください。

2. DST-i のモードスイッチを OFF にします。

3. 車両のスタータスイッチ（イグニションスイッチ）を OFF にします。

4. データリンクケーブルを DST-i と車両側の診断コネクタから取り外します。

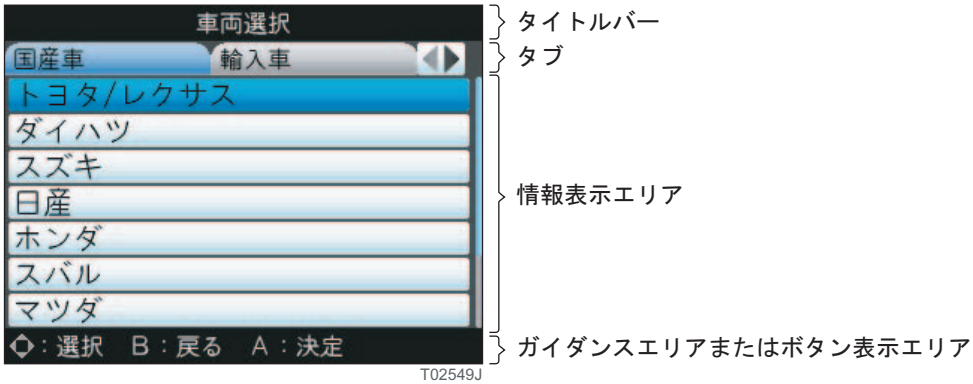
⚠注意

- **データリンクケーブルを DST-i および車両側の診断コネクタから取り外す場合は、コネクタに対してまっすぐ静かに引き抜いてください。**
  傾いた状態で引き抜いた場合、コネクタの端子が破損し、車両や DST-i に異常を引き起こす原因となる恐れがあります。
- **引き抜く際は、コードの部分ではなく、必ずコネクタの部分を持って引き抜いてください。**
  コードの部分を持って引き抜いた場合、ケーブルが断線する恐れがあります。

2 DST-i スタンダードソフトの操作

2-1 画面の構成

DST-i スタンダードソフトの画面の構成は、以下のとおりです。



T02549J

画面の構成

- **タイトルバー**

  現在表示中の画面タイトルが表示されます。

T02550J

タイトルバー

- **タブ**

  現在表示中の画面内の選択可能な項目が表示されます。

T02551J

タブ

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種や画面によって、タブの有無や表示される項目は異なります。

- **ガイダンスエリア**

  現在表示中の画面に対する操作ガイダンスが表示されます。

T02012J

ガイダンスエリア

- **ボタン表示エリア**

  現在表示中の画面で使用することができるボタンが表示されます。

T02552J

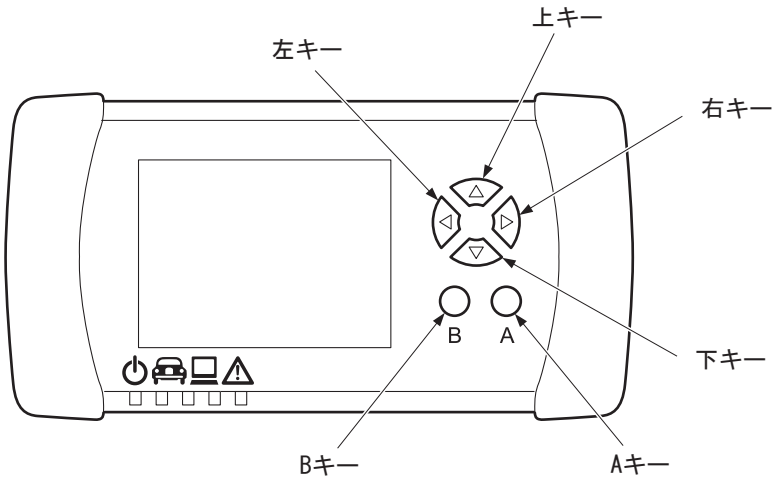
ボタン表示エリア

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- グレーアウトされているボタンは使用することができません。

2-2 基本操作

DST-i には、6 つの操作キーが配置されています。



T02469J

画面によって、操作キーの機能は異なります。
ガイダンスエリアに表示される操作ガイダンスに従って操作してください。
B キーを押したときの動作は、特に操作ガイダンスの表示がない場合は 1 つ前の画面に戻ります。（一部画面を除く）

2-3 メインメニュー

オープニング画面が表示されている状態で、いずれかのキーを押すと、メインメニュー画面が表示されます。

T02724J

メインメニュー画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- DST-i スタンダードソフトがインストールされた SD メモリーカードが挿入されていない場合は、メインメニュー画面に「スタンダードソフト」は表示されません。

メインメニュー画面から選択可能な機能について説明します。

機　能	内　　容
スタンダードソフト	故障コードの読出／消去、作業サポート機能により、車両診断・整備に役立てることができます。 J-OBD Ⅱ対応システムでは、故障コードの読出／消去、フリーズデータの表示に加え、データモニタ機能およびレディネスコードの表示を行うことができます。 共通機能として、印刷、取得データの保存、画面キャプチャの保存を行うことができます。また、プリンタの設定を行うこともできます。機能によっては、共通機能（印刷、保存）やプリンタ設定を使用することができません。
本体設定	DST-i 本体の画面明るさや、DST-i 操作時のブザー音の ON/OFF などを設定することができます。

2-4 診断機能

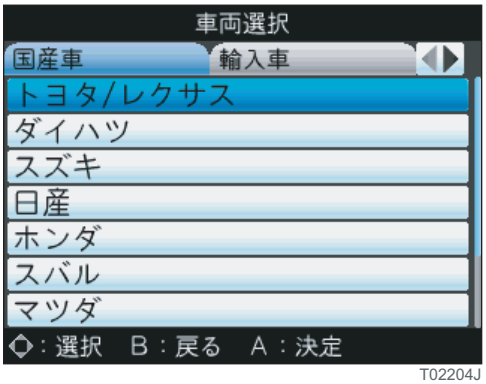
車両選択・システム選択

故障診断する車両情報やシステムを選択します。

1. メインメニュー画面で「スタンダードソフト」を選択し、A キーを押します。
車両メーカ選択画面が表示されます。

T02724J

メインメニュー画面



T02204J

車両メーカ選択画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- DST-i スタンダードソフトのバージョンによって、表示される車両メーカは異なります。

2. 車両メーカ選択画面で故障診断を行う車両のメーカを選択し、A キーを押します。
車両情報選択画面（未選択状態）が表示されます。

T02630J

車両情報選択画面（未選択状態）

3. 車両情報選択画面で故障診断を行う車両の車名、車両型式、エンジン型式、その他の絞り込み情報を選択します。
右キーを押して車両情報リスト画面を表示し、該当する情報を選択して A キーを押します。
車両情報の選択が完了したら、A キーを押します。
システム選択画面が表示されます。

車両情報リスト画面（車名の例）

車両情報選択画面（車両確定時）

システム選択画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- DST-i スタンダードソフトのバージョン、選択したメーカおよび車両によって、表示されるシステムは異なります。
- 車両情報選択画面の車名から順に車両情報を選択していくことで車両が絞り込まれていきます。車両が特定できた時点で A キーが有効になります。
- その他情報で言語選択（英語／日本語）が表示された場合、故障コード名称が選択した言語に切り替わります。
- 車両情報選択画面（選択中もしくは車両確定時）で B キーを押すと、選択されている車両情報がクリアされ、未選択状態に戻ります。未選択状態で B キーを押すと、車両メーカ選択画面に戻ります。

4. システム選択画面で故障診断を行うシステムを選択し、A キーを押します。
作業メニュー画面が表示されます。

T02206J

作業メニュー画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種やシステムによって、作業メニュー画面に表示される項目は異なります。

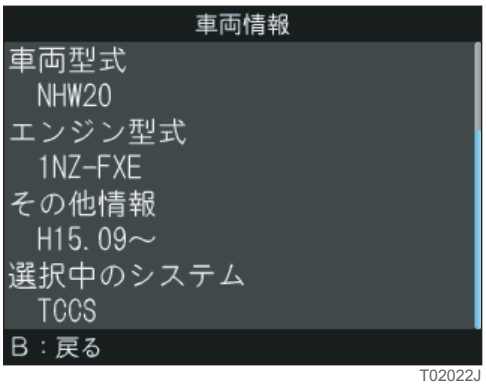
車両情報表示

車両情報表示では、車両選択時に選択した車両情報と、選択中のシステム名を確認することができます。

1. **作業メニュー画面で「車両情報」を選択し、A キーを押します。**
   車両情報表示画面が表示されます。

T02725J

作業メニュー画面



T02022J

車両情報表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車両情報表示画面に表示される項目は、選択した車両により異なります。

故障コード

故障コードとは、車両の ECU の自己診断機能によって検出した故障を、その故障系統や状態別にコード化したものであり、故障原因の推定に役立てることができます。
DST-i スタンダードソフトでは、故障コードの読出／消去を行うことができます。
故障コードには以下の種類があります。

故障コードの種類	内　　容
現在	現在（場合によっては過去も含む）故障を検出したこと、およびその故障内容を示すコードです。
過去	過去に検出した故障コードです。
ペンディング	異常は検出したが、故障の確定には至っていないコードです。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種やシステムによって、サポートしている故障コードの種類は異なります。

■ ALL ダイアグ表示

ALL ダイアグ表示では、選択した車両でサポートしている全システムの故障コードを一括確認できます。

1. システム選択画面で「ALL ダイアグ」を選択し、A キーを押します。
   ALL ダイアグ結果表示画面にシステム毎の故障コード確認結果が表示されます。

システム選択画面

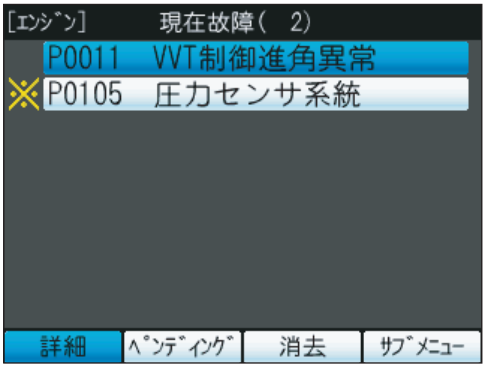
ALLダイアグ結果表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 故障コードが無い場合は“0”、故障コードが発生している場合はコード数が表示されます。
- システムがサポートしていない故障コードの種類は“－”が表示されます。
- 通信エラーが発生した場合は、システムがサポートしているすべての故障コードで“×”が表示されます。
- システム欄に＊マークが表示されている場合は、故障コードにフリーズフレームデータ（フリーズデータ）または詳細コードが記憶されていることを表します。

■ 個別確認

1. ALL ダイアグ結果表示画面で上下キーを使用して、故障コードを確認するシステムを選択します。
   左右キーを使用して、画面下部の「個別確認」ボタンを選択し、A キーを押します。
   選択したシステムの故障コード表示画面が表示されます。



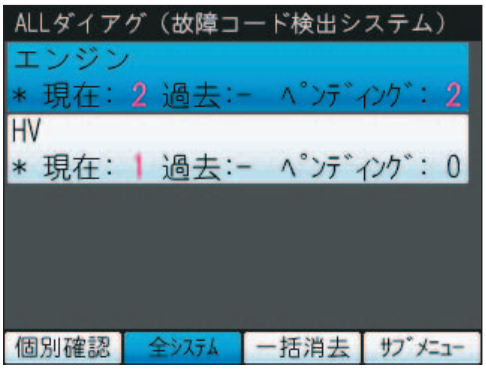
故障コード表示画面
（「エンジン」を選択した場合）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- システム毎の故障コードを個別に確認することができます。
  個別ダイアグについては、以下を参照してください。
  参照：P.16　個別ダイアグ（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作／診断機能／故障コード）

■ 検出システム表示

1. ALL ダイアグ結果表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「検出システム」ボタンを選択し、A キーを押します。
   故障コードが 1 つ以上検出されているシステムのみが表示されます。



ALLダイアグ結果表示画面
（故障コード検出システムのみ）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 「全システム」ボタンを選択し、A キーを押すと、全てのシステムが表示されます。

■ ALL ダイアグ結果の印刷

ALL ダイアグの結果を DST-i 用ミニプリンター（以下、「Bluetooth プリンタ」）で印刷できます。

1. **ALL ダイアグ結果表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「サブメニュー」ボタンを選択し、A キーを押します。**
サブメニュー選択画面が表示されます。

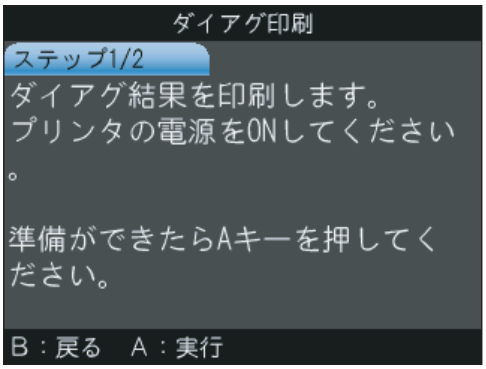
T02729J

サブメニュー選択画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **サブメニューから共通機能（印刷、保存）とプリンタ設定を使用することができます。**
  共通機能（印刷、保存）については、以下を参照してください。
  参照：P.35 共通機能（印刷、保存）（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作）
  プリンタ設定については、以下を参照してください。
  参照：P.38 プリンタ設定（3 章 本体設定）

2. **サブメニュー選択画面で「印刷」を選択し、A キーを押します。**
印刷準備画面が表示されます。



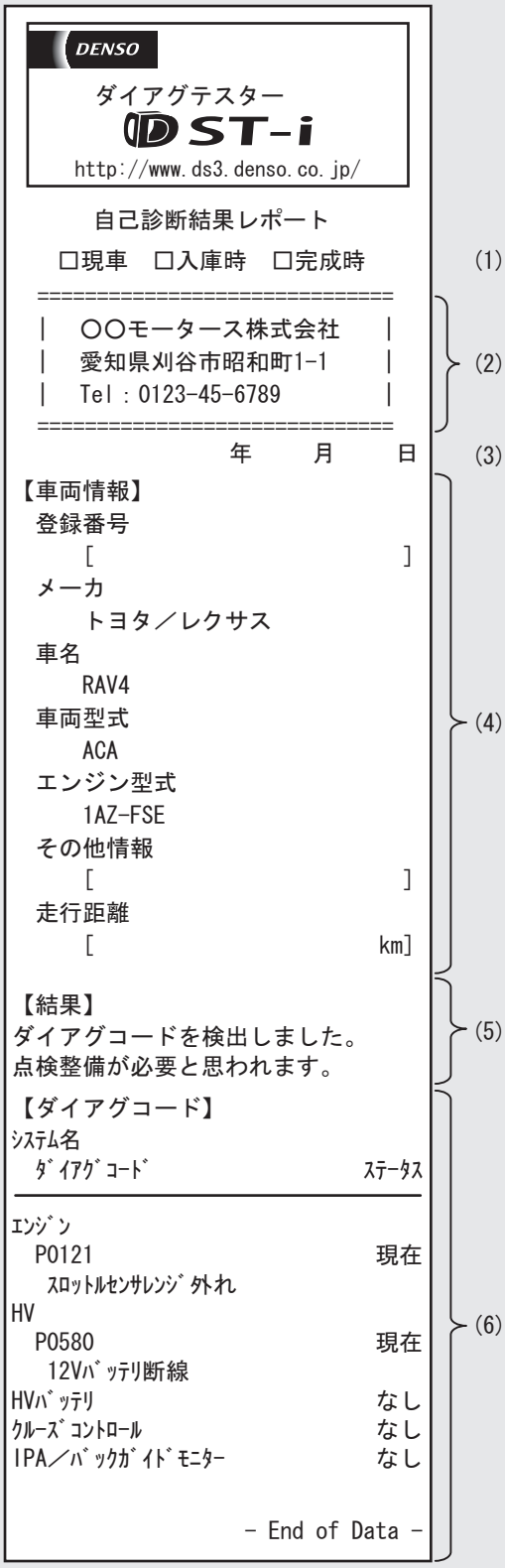
T02559J

印刷準備画面

3. 画面の指示に従って操作し、印刷を行います。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 印刷する場合には、事前に Bluetooth プリンタの登録を行っておく必要があります。
  参照：P.38 プリンタ設定（3 章 本体設定）
- 印刷結果の見方



DENSO

ダイアグテスター

DST-i

http://www.ds3.denso.co.jp/

自己診断結果レポート

□現車　□入庫時　□完成時

==========

| ○○モータース株式会社 |
| 愛知県刈谷市昭和町1-1 |
| Tel：0123-45-6789 |

==========

年　月　日

【車両情報】
登録番号
[ ]
メーカ
トヨタ／レクサス
車名
RAV4
車両型式
ACA
エンジン型式
1AZ-FSE
その他情報
[ ]
走行距離
[km]

【結果】
ダイアグコードを検出しました。
点検整備が必要と思われます。

【ダイアグコード】
ｼｽﾃﾑ名
ﾀﾞｲｱｸﾞｺｰﾄﾞ　ｽﾃｰﾀｽ

ｴﾝｼﾞﾝ
P0121　現在
ｽﾛｯﾄﾙｾﾝｻﾚﾝｼﾞ外れ
HV
P0580　現在
12Vﾊﾞｯﾃﾘ断線
HVﾊﾞｯﾃﾘ　なし
ｸﾙｰｽﾞｺﾝﾄﾛｰﾙ　なし
IPA／ﾊﾞｯｸｶﾞｲﾄﾞﾓﾆﾀｰ　なし

- End of Data -

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
(6)

(1) 現車／入庫時／完成時　チェックボックス
診断車両の状態により選択し、チェックを入れます。

(2) ショップ情報
SDカードに保存したショップ情報が印刷されます。
ショップ情報の作成方法は「5章 ショップ情報作成」を参照してください。

(3) 日付
ALLダイアグを実行した日付を年月日で記入します。
※日付は手入力となります。診断した日付をボールペンなどでご記入ください。

(4) 車両情報
診断車両の情報が印刷されます。
[ ]内は手書きで記入します。

(5) 結果
ALLダイアグの結果についてコメントが印刷されます。

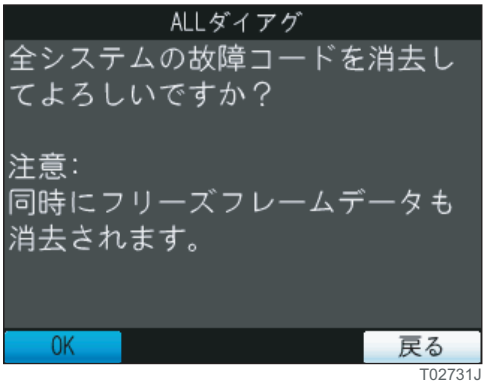
(6) ダイアグコード
システム毎に検出したダイアグコードおよび名称が印刷されます。

T02730J

■ ALL ダイアグ消去（一括消去）

ALL ダイアグ消去では、選択した車両でサポートしている全システムの故障コードを一括消去できます。

1. ALL ダイアグ結果表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「一括消去」ボタンを選択し、A キーを押します。
   故障コード消去確認画面が表示されます。

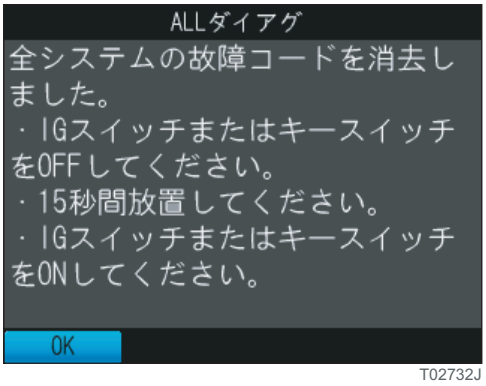


故障コード消去確認画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 故障コードの消去を中止したい場合は、B キーを押すか、左右キーを使用して、画面下部の「戻る」ボタンを選択し、A キーを押します。
  ALL ダイアグ結果表示画面に戻ります。

2. 故障コード消去確認画面で左右キーを使用して、画面下部の「OK」ボタンを選択し、A キーを押します。
   故障コードが消去された後、消去完了メッセージが表示されます。



故障コード消去完了画面

3. 故障コード消去完了画面で A キーを押します。
   システム選択画面に戻ります。

■ 個別ダイアグ

1. システム選択画面で故障診断を行うシステムを選択し、A キーを押します。
作業メニュー画面が表示されます。

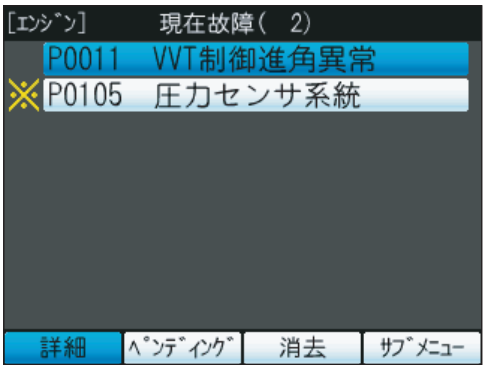
T02554J

システム選択画面

T02206J

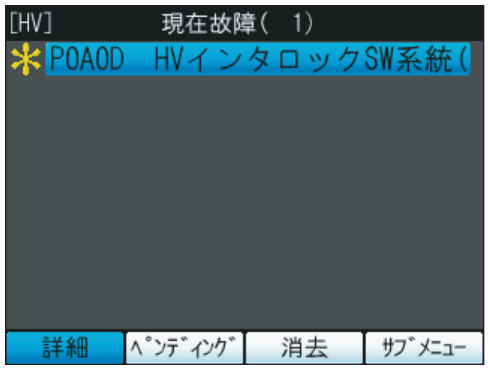
作業メニュー画面

2. 作業メニュー画面で「故障コード」を選択し、A キーを押します。
故障コード表示画面が表示されます。



T02733J

故障コード表示画面
（エンジンの例）



T02734J

故障コード表示画面
（トヨタ車HVシステムの例）

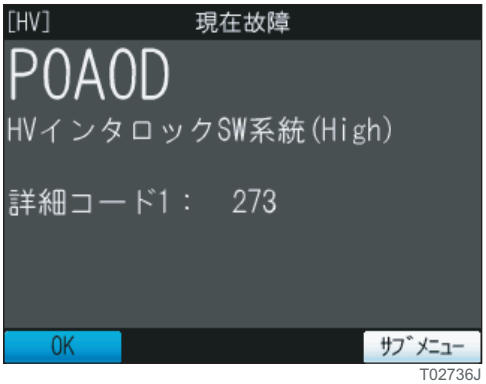
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 故障コードの種類（現在故障、過去故障、ペンディング）のうち、選択したシステムでサポートしているものが現在故障→過去故障→ペンディングの順で表示されます。
  サポートしている故障コードの種類のみ切り替えることができます。
- 画面上部のタイトルバーに表示される「故障コードの種類（*）」の「*」には、故障コードの数が表示されます。
- 故障コードが検出されなかった場合は、タイトルバーの故障コード数には「0」が表示され、故障コード表示画面に「故障コードはありません。」のメッセージが表示されます。
- 故障コードの左側に✻マークが表示されている場合は、詳細コードを確認することができます。（トヨタ車 HV システムのみ）
- 故障コードの左側に※マークが表示されている場合は、故障コードにフリーズフレームデータ（フリーズデータ）が記憶されていることを表します。（トヨタ車パワトレイン系システムのみ。ただし、一部古い年式の車両には対応していません。）
  フリーズフレームデータ（フリーズデータ）の内容については、パソコン表示用ソフト PC2000pro を使用して確認することが可能です。PC2000pro を使用するには、下記 URL よりダウンロード後インストール作業を行ってください。
  PC2000pro ダウンロードページ：http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html

3. 故障コード表示画面で上下キーを使用して、故障コードを選択します。
左右キーを使用して、画面下部の「詳細」ボタンを選択し、A キーを押します。
故障コード詳細表示画面が表示されます。

T02735J

故障コード詳細表示画面



T02736J

故障コード詳細表示画面
（詳細コード表示）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

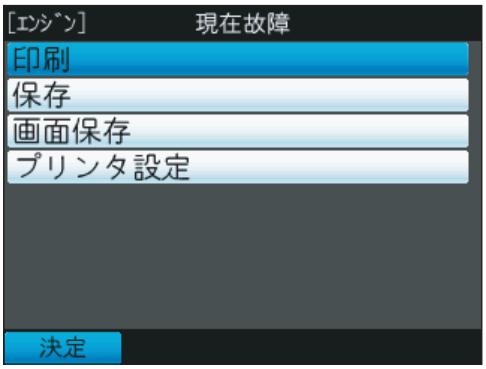
- 詳細コードは、故障コード詳細表示画面に表示されます。

4. 故障コード詳細表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「OK」ボタンを選択し、A キーを押します。
故障コード表示画面に戻ります。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部に故障コードの種類を表示したボタン（過去故障、ペンディング）が表示されている場合は、故障コードの種類を切り替えることができます。
  タイトルバーに表示される故障コードの種類と数も切り替わります。

5. 故障コード表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「サブメニュー」ボタンを選択し、A キーを押します。
サブメニュー選択画面が表示されます。



サブメニュー選択画面

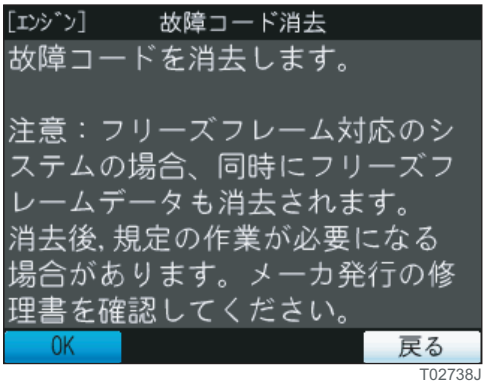
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- サブメニューから共通機能（印刷、保存）とプリンタ設定を使用することができます。
  共通機能（印刷、保存）については、以下を参照してください。
  参照：P.35 共通機能（印刷、保存）（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作）
  プリンタ設定については、以下を参照してください。
  参照：P.38 プリンタ設定（3 章 本体設定）
- 以降の画面で「サブメニュー」ボタンが表示されていて選択可能な場合は、サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。

■ 故障コード消去

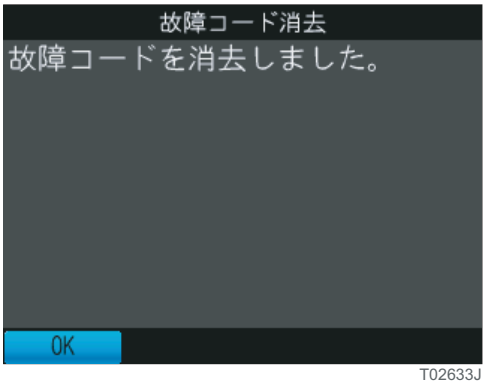
ECU に記憶されている故障コードを消去することができます。
故障コードの消去を行うと、全ての故障コードやペンディングコードが消去されます。

1. **故障コード表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「消去」ボタンを選択し、A キーを押します。**
   故障コード消去確認画面が表示されます。



故障コード消去確認画面

2. **故障コード消去確認画面で左右キーを使用して、画面下部の「OK」ボタンを選択し、A キーを押します。**
   故障コードが消去された後、消去完了メッセージが表示されます。



故障コード消去完了画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **故障コードの消去を中止したい場合は、B キーを押すか、左右キーを使用して、画面下部の「戻る」ボタンを選択し、A キーを押します。**
  故障コード表示画面に戻ります。

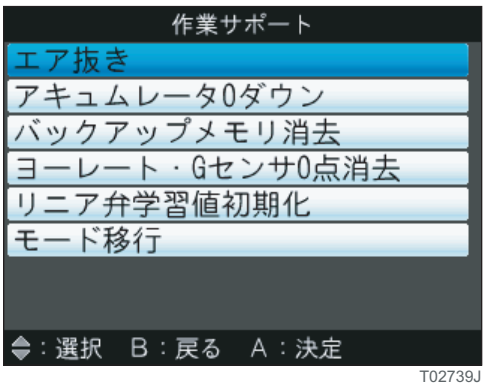
3. **故障コード消去完了画面で A キーを押します。**
   故障コード表示画面に戻ります。

作業サポート

作業サポートでは、画面に表示される作業手順に従って作業を進めることにより、ECU やアクチュエータを交換した場合に必要な作業を行うことができます。

1. 作業メニュー画面で「作業サポート」を選択し、A キーを押します。
   作業サポートメニュー画面が表示されます。

作業メニュー画面



作業サポートメニュー画面

2. 作業サポートメニュー画面で実施する作業サポートを選択し、A キーを押します。

作業サポートメニュー画面から選択可能な機能の一例について説明します。
その他の対応機能については、DST-i ホームページ（http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html）を参照してください。

機　能	内　　容
エア抜き	ブレーキフルード交換やブレーキ系統の交換・脱着・分解等の作業を実施後、ABS ホース等に混入したエアを強制的に抜いてブレーキの効きを確保するために使用します。
アキュムレータ 0 ダウン	ブレーキ脱着・分解、アクチュエータ交換等の作業を行った後、アキュムレータ内圧抜きを行うために使用します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種やシステムによって、使用できる機能は異なります。
- 車種やシステムによって、作業メニュー画面に「作業サポート」が表示されない場合があります。
- 作業サポート機能をご利用になる場合には、車両の修理書および DST-i 画面に表示される内容に従って、正しく実施してください。

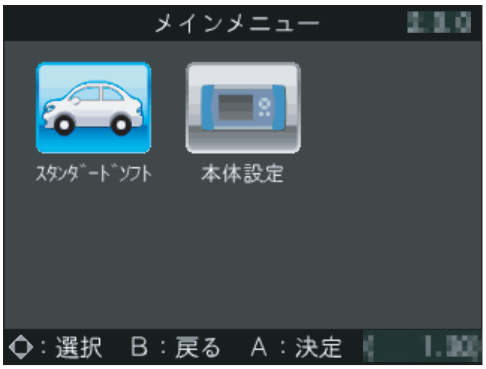
2-5 J-OBD Ⅱ専用機能

J-OBD Ⅱ専用機能は、J-OBD Ⅱ規格に準拠した ECU を搭載した車両の対応システムでのみ使用することができます。

機能選択・システム選択

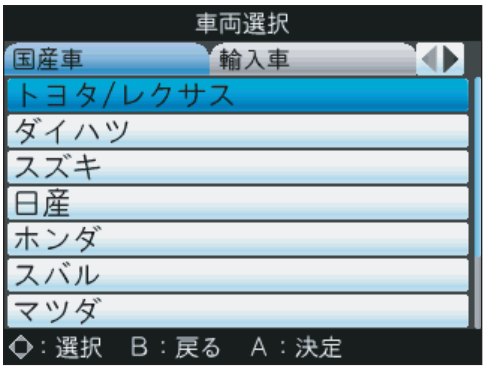
使用する機能や診断するシステムを選択します。

1. メインメニュー画面で「スタンダードソフト」を選択し、A キーを押します。
   車両メーカ選択画面が表示されます。



T02724J

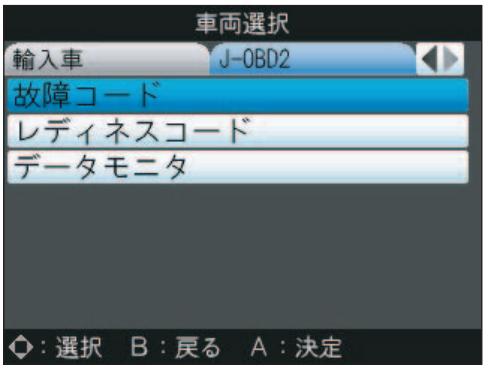
メインメニュー画面



T02204J

車両メーカ選択画面

2. 車両メーカ選択画面で左右キーを使用して、「J-OBD2」のタブを選択します。
   機能選択画面が表示されます。



T02569J

機能選択画面

3. **機能選択画面で上下キーを使用して、使用する機能を選択し、A キーを押します。**
接続されている車両のシステムチェックを開始します。
完了するまで、しばらくお待ちください。

T02211J

システムチェック中

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **システムチェックが完了するまでに、数分かかる場合があります。**

システムチェック完了後、システム選択画面が表示されます。

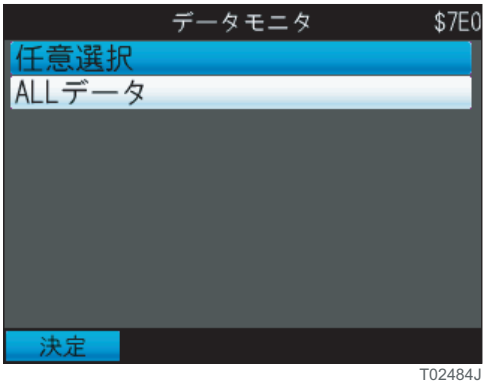
T02483J

システム選択画面
（「データモニタ」を選択した場合）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **画面下部の「再検出」ボタンを選択し、A キーを押すと、再度システムチェックを行います。**

4. システム選択画面で上下キーを使用して、故障診断を行うシステムを選択します。
左右キーを使用して、画面下部の「決定」ボタンを選択し、A キーを押します。
機能別の初期画面が表示されます。



機能別の初期画面
（「データモニタ」を選択した場合）

故障コード

故障コードとは、車両の ECU の自己診断機能によって検出した故障を、その故障系統や状態別にコード化したものであり、故障原因の推定に役立てることができます。
DST-i スタンダードソフトの J-OBD Ⅱ専用機能では、故障コードの読出／消去、フリーズデータの表示を行うことができます。
故障コードには以下の種類があります。

故障コードの種類	内　　容
故障コード	故障を検出したこと、およびその故障内容を示すコードです。
ペンディングコード	異常は検出したが、故障の確定には至っていないコードです。

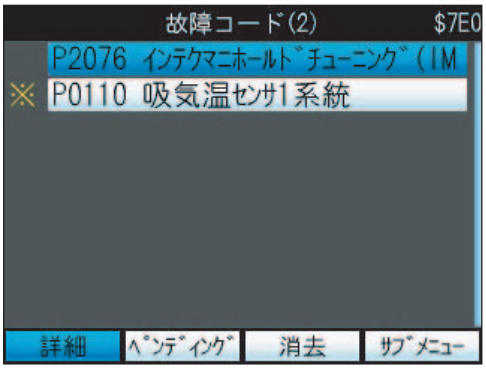
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 車種・システムによって、サポートしている故障コードの種類は異なります。

■ 故障コード読出

故障コード、ペンディングコードを表示することができます。

1. 初期画面（故障コード表示画面）で上下キーを使用して、故障コードを選択します。
   左右キーを使用して、画面下部の「詳細」ボタンを選択し、A キーを押します。
   故障コード詳細表示画面が表示されます。



故障コード表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面上部のタイトルバーに表示される「故障コード（*）」の「*」には、故障コードの数が表示されます。
- 故障コードが検出されなかった場合は、タイトルバーの故障コード数には「0」が表示され、故障コード表示画面に「故障コードはありません。」のメッセージが表示されます。

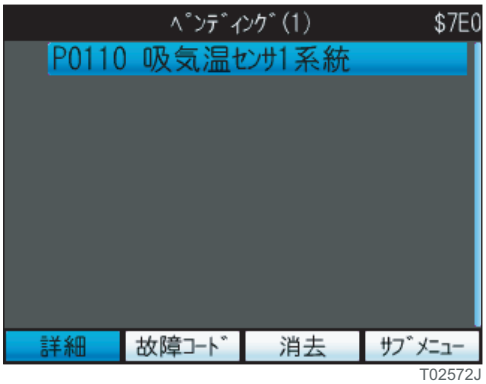
故障コード詳細表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部に「フリーズデータ」ボタンが表示されている場合は、フリーズデータを表示することができます。

2. 故障コード詳細表示画面で B キーを押します。
故障コード表示画面に戻ります。

3. 故障コード表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「ペンディング」ボタンを選択し、A キーを押します。
ペンディングコード表示画面が表示されます。



ペンディングコード表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面上部のタイトルバーに表示される「ペンディング（*)」の「*」には、故障コードの数が表示されます。
- ペンディングコードが検出されなかった場合は、タイトルバーの故障コード数には「0」が表示され、ペンディングコード表示画面に「ペンディングコードはありません。」のメッセージが表示されます。

4. ペンディングコード表示画面で上下キーを使用して、ペンディングコードを選択します。
左右キーを使用して、画面下部の「詳細」ボタンを選択し、A キーを押します。
ペンディングコード詳細表示画面が表示されます。

T02584J

ペンディングコード詳細表示画面

5. ペンディングコード詳細表示画面で B キーを押します。
ペンディングコード表示画面に戻ります。

6. 故障コード表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「サブメニュー」ボタンを選択し、A キーを押します。
サブメニュー選択画面が表示されます。

T02573J

サブメニュー選択画面

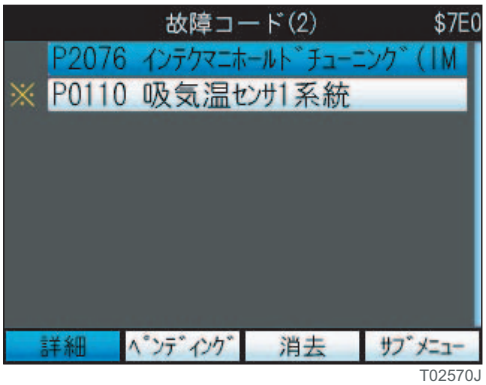
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。
  共通機能（印刷、保存）については、以下を参照してください。
  参照：P.35 共通機能（印刷、保存）（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作）
- 以降の画面で「サブメニュー」ボタンが表示されていて選択可能な場合は、サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。

■ フリーズデータ

フリーズデータとは、故障コード発生時の ECU データを記録したデータです。
故障コードに関連付けられているフリーズデータを表示することができます。

1. 故障コード表示画面で上下キーを使用して、故障コードの左側に「※」が表示されている故障コードを選択します。
   左右キーを使用して、画面下部の「詳細」ボタンを選択し、A キーを押します。
   故障コード詳細表示画面が表示されます。



T02570J

故障コード表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 故障コードの左側に「※」が表示されている場合のみ、フリーズデータを表示することができます。

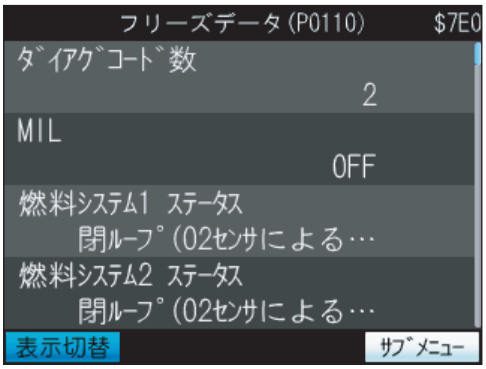
T02571J

故障コード詳細表示画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部に「フリーズデータ」ボタンが表示されている場合は、フリーズデータを表示することができます。

2. 故障コード詳細表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「フリーズデータ」ボタンを選択し、A キーを押します。
フリーズデータ表示画面が表示されます。

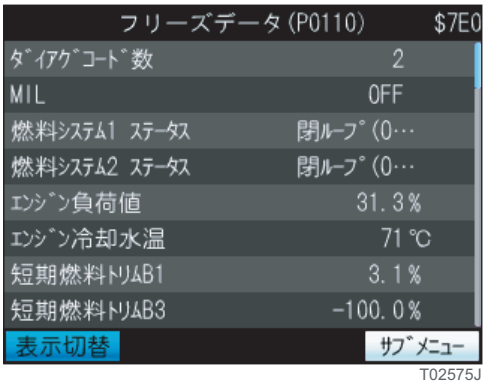


T02574J

フリーズデータ表示画面（4信号表示）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- A キーを押すと、8 信号表示に切り替えることができます。
  操作を繰り返すことで、4 信号表示と 8 信号表示を切り替えることができます。



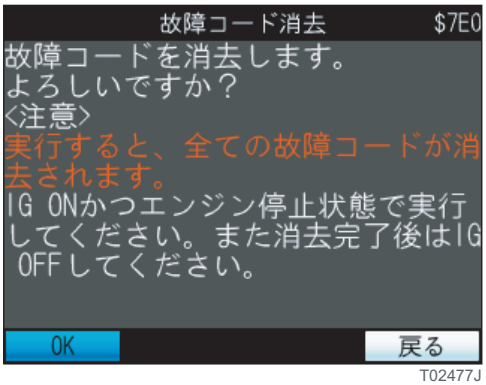
T02575J

フリーズデータ表示画面（8信号表示）

■ 故障コード消去

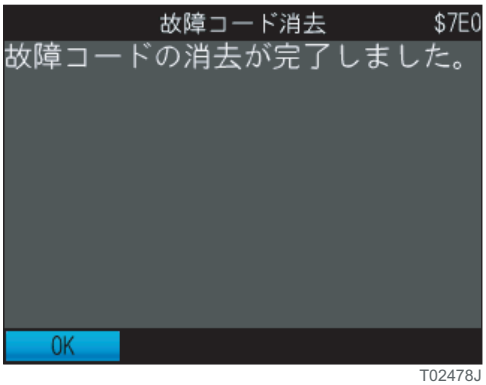
ECU に記憶されている故障コードを消去することができます。
故障コードの消去を行うと、全ての故障コードやペンディングコード、フリーズデータが消去されます。

1. 故障コード表示画面またはペンディングコード表示画面で左右キーを使用して、画面下部の「消去」ボタンを選択し、A キーを押します。
故障コード消去確認画面が表示されます。



故障コード消去確認画面

2. 故障コード消去確認画面で左右キーを使用して、画面下部の「OK」ボタンを選択し、A キーを押します。
故障コードが消去された後、消去完了メッセージが表示されます。



故障コード消去完了画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

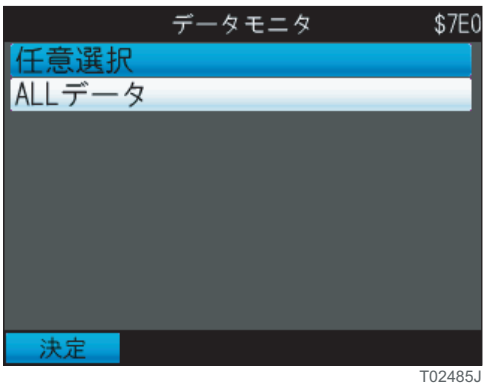
- 故障コードの消去を中止したい場合は、B キーを押すか、左右キーを使用して、画面下部の「戻る」ボタンを選択し、A キーを押します。
  故障コード表示画面に戻ります。

3. 故障コード消去完了画面で A キーを押します。
故障コード表示画面に戻ります。

データモニタ

車載コンピュータ（ECU）のデータを数値でモニタリングすることができます。

1. 初期画面（選択方式決定画面）で上下キーを使用して、モニタ信号の選択方式を選択し、A キーを押します。
   モニタ信号選択画面が表示されます。



T02485J

選択方式決定画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 「任意選択」を選択すると、モニタ信号は何も選択されていない状態で画面が表示されます。「ALL データ」を選択すると、全てのモニタ信号が選択された状態で画面が表示されます。

T02486J

モニタ信号選択画面
（「任意選択」の場合）

T02487J

モニタ信号選択画面
（「ALLデータ」の場合）

2. モニタ信号選択画面で左右キーを使用して、画面下部の「選択・解除」ボタンを選択します。
上下キーを使用して、表示するモニタ信号を選択し、A キーを押します。
選択したモニタ信号の左側に数字（選択順）が表示されます。

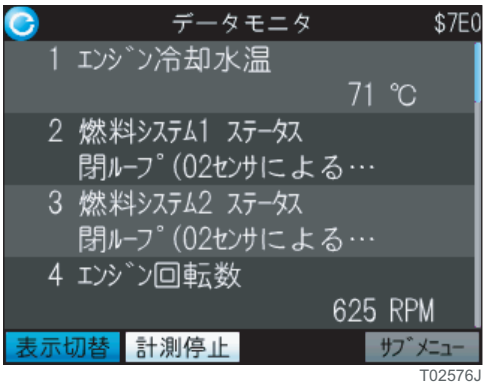
モニタ信号選択画面
（「エンジン冷却水温」を選択した場合）

モニタ信号選択画面
（モニタ信号を複数選択した場合）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- モニタ信号が選択された状態で A キーを押すと、選択が解除されます。

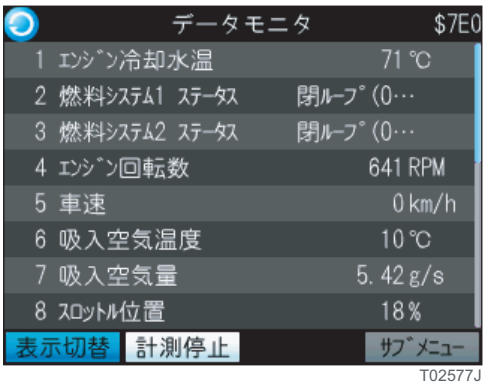
3. モニタ信号選択画面でモニタ信号を選択した後、左右キーを使用して、画面下部の「計測開始」ボタンを選択し、A キーを押します。
モニタ信号表示画面が表示されます。



モニタ信号表示画面（4信号表示）

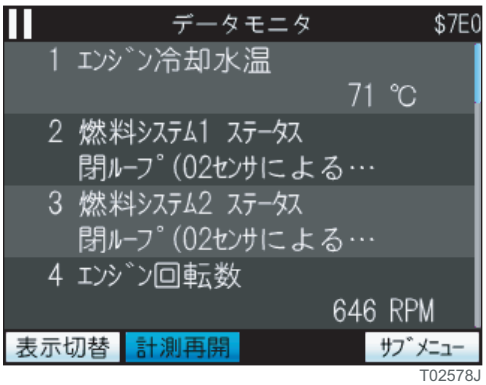
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部の「表示切替」ボタンを選択し、A キーを押すと、8 信号表示に切り替えることができます。
  操作を繰り返すことで、4 信号表示と 8 信号表示を切り替えることができます。
- 画面下部の「計測停止」ボタンを選択し、A キーを押すと、モニタ信号の表示を停止することができます。



T02577J

モニタ信号表示画面（8信号表示）



T02578J

モニタ信号表示画面（停止中）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部の「計測再開」ボタンを選択し、A キーを押すと、モニタ信号の表示を再開することができます。

4. モニタ信号表示画面でモニタ信号の表示を停止した後、左右キーを使用して、画面下部の「サブメニュー」ボタンを選択し、A キーを押します。
サブメニュー選択画面が表示されます。

T02579J

サブメニュー選択画面

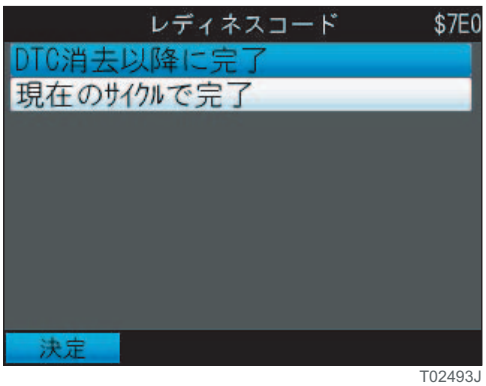
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。
  共通機能（印刷、保存）については、以下を参照してください。
  参照：P.35 共通機能（印刷、保存）（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作）
- 以降の画面で「サブメニュー」ボタンが表示されていて選択可能な場合は、サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。

レディネスコード

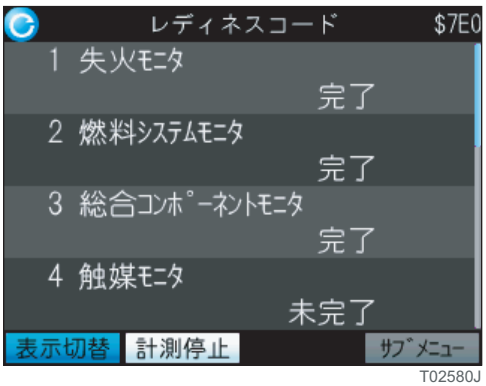
モニタ信号のグループ毎の診断状況を表示し、モニタリングすることができます。

1. 初期画面（レディネスコード区分決定画面）で上下キーを使用して、区分を選択し、A キーを押します。
   モニタ項目表示画面が表示されます。



T02493J

レディネスコード区分決定画面

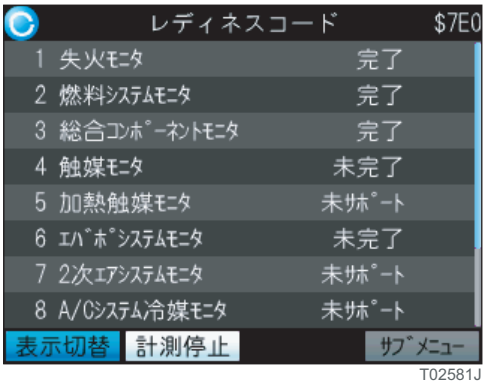


T02580J

モニタ項目表示画面（4項目表示）

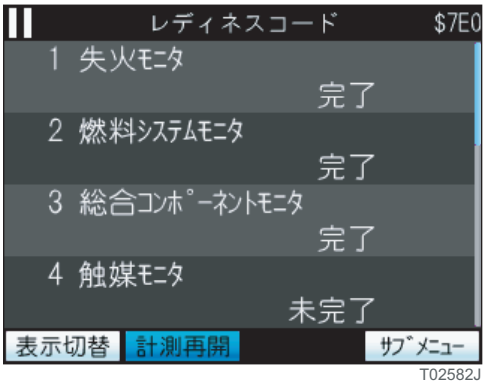
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部の「表示切替」ボタンを選択し、A キーを押すと、8 項目表示に切り替えることができます。
  操作を繰り返すことで、4 項目表示と 8 項目表示を切り替えることができます。
- 画面下部の「計測停止」ボタンを選択し、A キーを押すと、モニタ項目の表示を停止することができます。



T02581J

モニタ項目表示画面（8項目表示）



T02582J

モニタ項目表示画面（停止中）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 画面下部の「計測再開」ボタンを選択し、A キーを押すと、モニタ項目の表示を再開することができます。

2. モニタ項目表示画面でモニタ項目の表示を停止した後、左右キーを使用して、画面下部の「サブメニュー」ボタンを選択し、A キーを押します。
サブメニュー選択画面が表示されます。

サブメニュー選択画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。
  共通機能（印刷、保存）については、以下を参照してください。
  参照：P.35 共通機能（印刷、保存）（2 章 DST-i スタンダードソフトの操作）
- 以降の画面で「サブメニュー」ボタンが表示されていて選択可能な場合は、サブメニューから共通機能（印刷、保存）を使用することができます。

2-6 共通機能（印刷、保存）

診断機能、J-OBD Ⅱ専用機能の両方で使用することができます。
印刷機能を使用するには、DST-i 用ミニプリンター（以下、「Bluetooth プリンタ」）が必要になります。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- **作業サポート機能では、共通機能（印刷、保存）を使用することができません。**

サブメニュー画面から選択可能な機能について説明します。

機　能	内　　容
印刷	表示している画面のデータを Bluetooth プリンタで印刷することができます。
保存	表示している画面のデータを SD メモリーカードに保存することができます。 （保存したデータは、パソコン表示用ソフト PC2000pro を使用して閲覧することが可能です。PC2000pro を使用するには、下記 URL よりダウンロード後インストール作業を行ってください。 PC2000pro ダウンロードページ：http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/setup/ja/software.html）
画面保存	表示している画面のキャプチャを SD メモリーカードに保存することができます。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

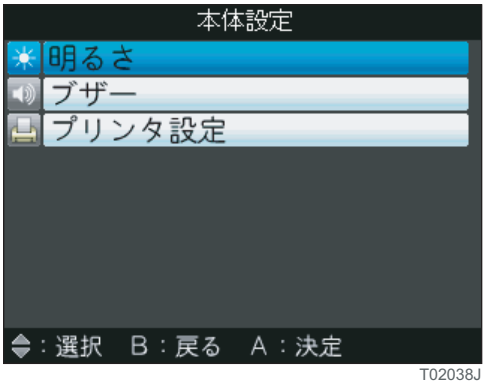
- **各機能は画面の指示に従って操作してください。**

3 本体設定

DST-i 本体の画面明るさや、DST-i 操作時のブザー音の ON/OFF などを設定することができます。

1. **メインメニュー画面で「本体設定」を選択し、A キーを押します。**
   設定メニュー画面が表示されます。

T02740J
メインメニュー画面



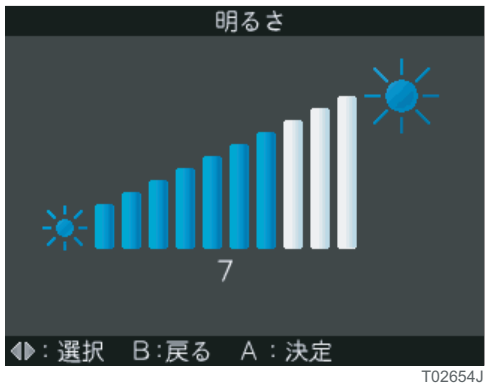
T02038J
設定メニュー画面

2. **設定メニュー画面で設定する項目を選択し、A キーを押します。**
   選択した項目の設定画面が表示されます。

明るさ設定

明るさ設定では、画面のバックライトの輝度を調整することができます。

1. 明るさ設定画面で右キーまたは左キーを押して希望の明るさに合わせ、A キーを押して決定します。
   A キーを押さずに B キーを押すと、変更はキャンセルされます。



T02654J

明るさ設定画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 現在設定されている明るさの数値が画面に表示されます。

ブザー設定

ブザー設定では、DST-i 操作時のブザー音の有無を設定することができます。

1. ブザー設定画面で右キーまたは左キーを押して希望する設定にし、A キーを押して決定します。
   A キーを押さずに B キーを押すと、変更はキャンセルされます。

T02039J

ブザー設定画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- 現在設定されているブザー音の ON・OFF が画面に表示されます。

プリンタ設定

プリンタ設定では、DST-i 用ミニプリンター（以下、「Bluetooth プリンタ」）の登録とテスト印刷を行うことができます。

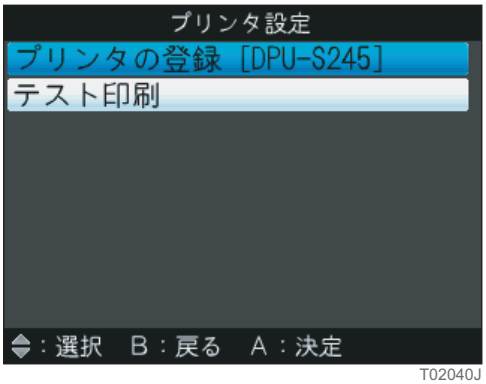
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- Bluetooth プリンタは、Bluetooth 付きモデルのみ使用できます。
- Bluetooth プリンタは、DST-i 専用のミニプリンターをご使用ください。

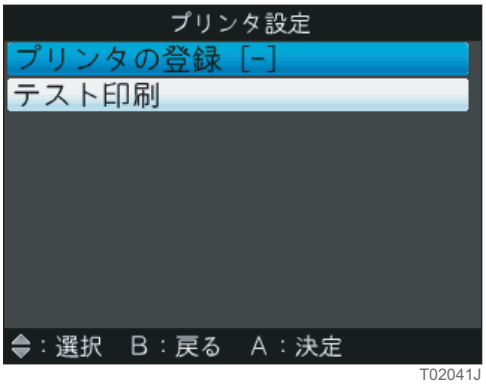
機　能	内　　容
プリンタの登録	Bluetooth デバイスを検索し、DST-i で使用する Bluetooth プリンタを登録します。
テスト印刷	DST-i と Bluetooth プリンタの通信状態を確認できます。

■ Bluetooth プリンタの登録を行う場合

1. プリンタ設定メニュー画面で「プリンタの登録」を選択し、A キーを押します。
   Bluetooth プリンタ登録準備画面が表示されます。



プリンタ設定メニュー画面
（Bluetoothプリンタ登録済み）



プリンタ設定メニュー画面
（Bluetoothプリンタ未登録）

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

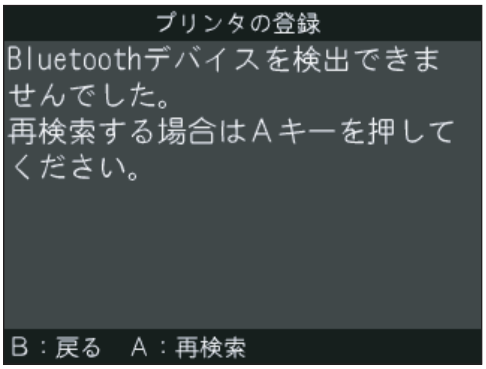
- Bluetooth プリンタが登録済みの場合、Bluetooth プリンタ名が“[]”内に表示されます。
- Bluetooth プリンタ未登録の場合、“[－]”と表示されます。

2. Bluetooth プリンタを DST-i から 10m 以内の見通しの良い場所に設置します。

3. Bluetooth プリンタの電源を ON にして待ち受け状態にした後、Bluetooth プリンタ登録準備画面で A キーを押します。

4. Bluetooth デバイスを検索します。
Bluetooth デバイスを検出できなかった場合は、Bluetooth デバイス未検出画面で A キーを押して再検索してください。

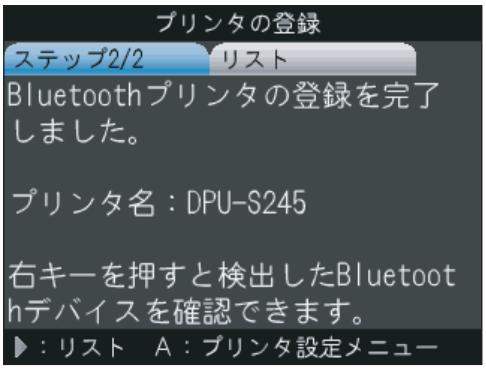
T02042J
Bluetoothデバイス検索中画面



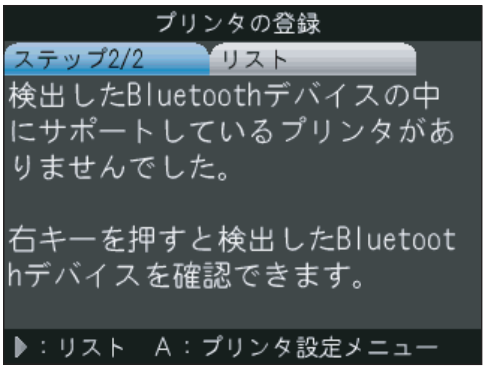
T02043J
Bluetoothデバイス未検出画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ
- Bluetooth デバイスの検出中は、DST-i の Bluetooth インジケータが青に点滅します。
- Bluetooth デバイスの検出には 20 秒程度かかる場合があります。

5. Bluetooth プリンタを検出した場合、自動的に登録され、Bluetooth プリンタ登録完了画面が表示されます。
Bluetooth プリンタが検出されなかった場合は、Bluetooth プリンタ登録失敗画面が表示されます。



T02044J
Bluetoothプリンタ登録完了画面

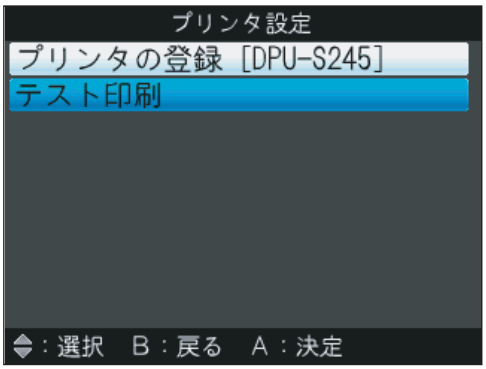


T02045J
Bluetoothプリンタ登録失敗画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ
- Bluetooth プリンタ登録完了／失敗画面で右キーを押すと、検出した Bluetooth デバイスの一覧を確認できます。
- Bluetooth プリンタが検出されない場合、主に以下の要因が考えられます。
  - ・Bluetooth プリンタの電源が OFF になっている
  - ・Bluetooth プリンタと DST-i の距離が 10m 以上離れている
  - ・Bluetooth プリンタと DST-i の間に遮へい物がある
  - ・Bluetooth プリンタ以外の Bluetooth デバイスが先に検出されている
  - ・電波障害が発生している
  - ・Bluetooth プリンタまたは DST-i の不良
- Bluetooth デバイス検索をやり直しても検出されない場合、ご購入店や最寄りの株式会社デンソーセールス、または巻末記載の DST サポートセンターまでお問い合わせください。

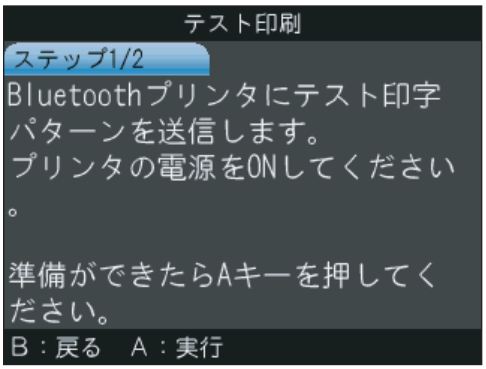
■ テスト印刷を行う場合

1. プリンタ設定メニュー画面で「テスト印刷」を選択し、A キーを押します。
テスト印刷開始画面が表示されます。



T02046J

プリンタ設定メニュー画面

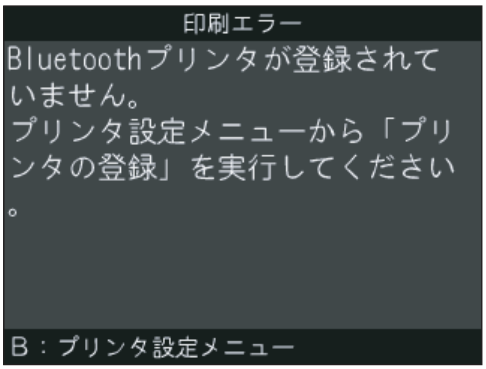


T02086J

テスト印刷開始画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

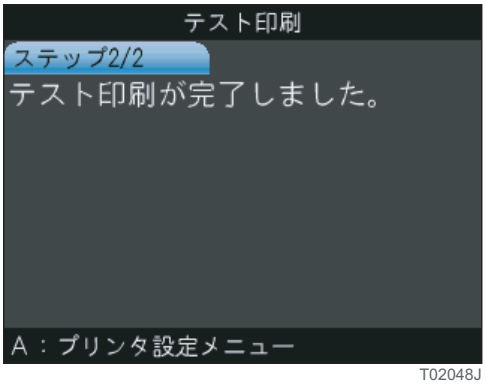
- テスト印刷を行う場合は事前に Bluetooth プリンタの登録を完了させる必要があります。
参照：P.38 プリンタ設定（3 章 本体設定）
- Bluetooth プリンタ未登録の状態で印刷を実行すると、印刷エラー画面が表示されます。



T02047J

印刷エラー画面

2. Bluetooth プリンタの電源を ON にして待ち受け状態にした後、A キーを押します。
テスト印刷パターンがプリンタに送信され、印刷完了画面が表示されます。



T02048J

印刷完了画面

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

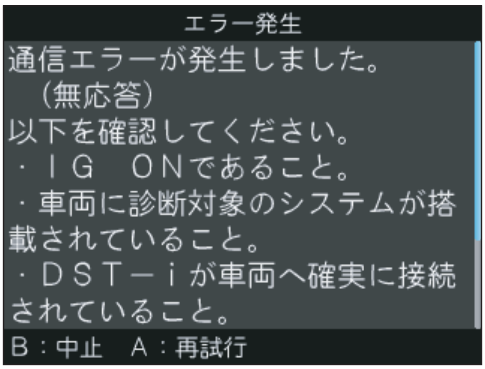
- Bluetooth プリンタとの通信中は、DST-i の Bluetooth インジケータが青に点滅します。

4 エラーが発生したら

4-1 通信エラー

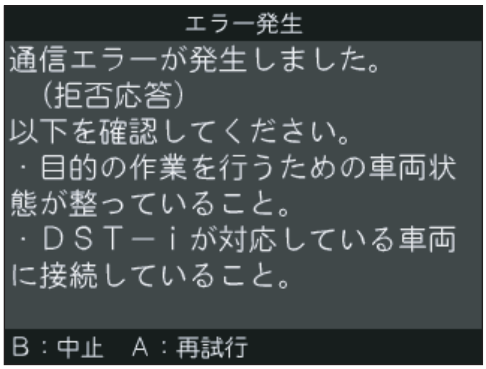
DST-i スタンダードソフトを使用中に通信エラーが発生した場合、下記のエラーメッセージ画面が表示されます。

通信エラーA



エラーメッセージ画面
（無応答）

通信エラーB



エラーメッセージ画面
（拒否応答）

通信エラー が発生したときの対処方法は、まず A キーを押して再試行します。
その結果、再び通信エラーが発生した場合は、以下の通り、通信エラーの発生を確認します。

■ 通信エラー A

通信エラー A は、DST-i からの要求に対してシステム（ECU）が応答しない場合に表示されます。
原因としては、以下が考えられます。

- 車両のスタータスイッチ（イグニションスイッチ）が ON ではない。
- データリンクケーブルが接続されていない、または接触不良。
- 車両に診断対象のシステムが搭載されていない。
- DST-i スタンダードソフトが当該のシステムに対応していない。

■ 通信エラー B

通信エラー B は、DST-i からの要求に対してシステム（ECU）から拒否応答があった場合に表示されます。
原因としては、以下が考えられます。

- 実施しようとしている作業に対して、車両側の条件が整っていない。

  例えば以下の場合が考えられます。
  メーカおよび車両によって、「故障コード消去」はエンジン停止中しか実施できない場合があるが、作業ガイダンスに従わず、エンジン回転中に実施した場合など。

上記を確認しても問題が解消されない場合は、ご購入店や最寄りの株式会社デンソーセールス、または巻末記載の DST サポートセンターまでお問い合わせください。

4-2 画面のフリーズ

DST-i スタンダードソフトを使用中に画面が動かなくなった場合は、以下の手順で対処します。

1. **DST-i のモードスイッチを OFF にします。**
   モードスイッチを OFF にしても画面のフリーズが解消されない場合は、ご購入店や最寄りの株式会社デンソーセールス、または巻末記載の DST サポートセンターまでお問い合わせください。

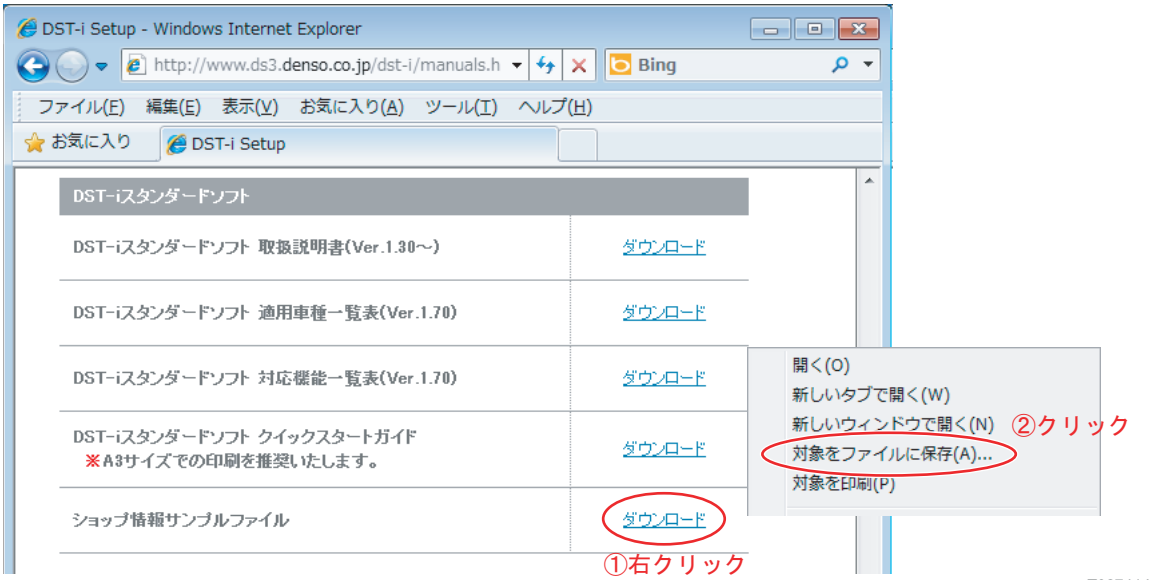
2. **DST-i のモードスイッチを ON にして再起動します。**
   再起動しても画面のフリーズが解消されない場合は、ご購入店や最寄りの株式会社デンソーセールス、または巻末記載の DST サポートセンターまでお問い合わせください。

5 ショップ情報作成

ALL ダイアグ結果を印刷する際、一緒に印刷する会社名、住所、電話番号などを編集できます。

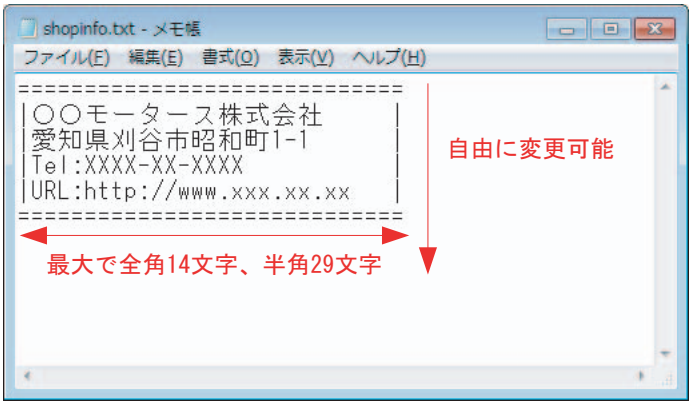
1. Web ブラウザを起動し、以下の URL にアクセスします。
   http://www.ds3.denso.co.jp/dst-i/manuals.html

2. 「DST-i スタンダードソフト」のショップ情報サンプルファイル (shopinfo.txt) をパソコン上へダウンロードします。



T02741J

3. パソコン上にダウンロードした「shopinfo.txt」を開き、内容を変更して保存します。



T02743J

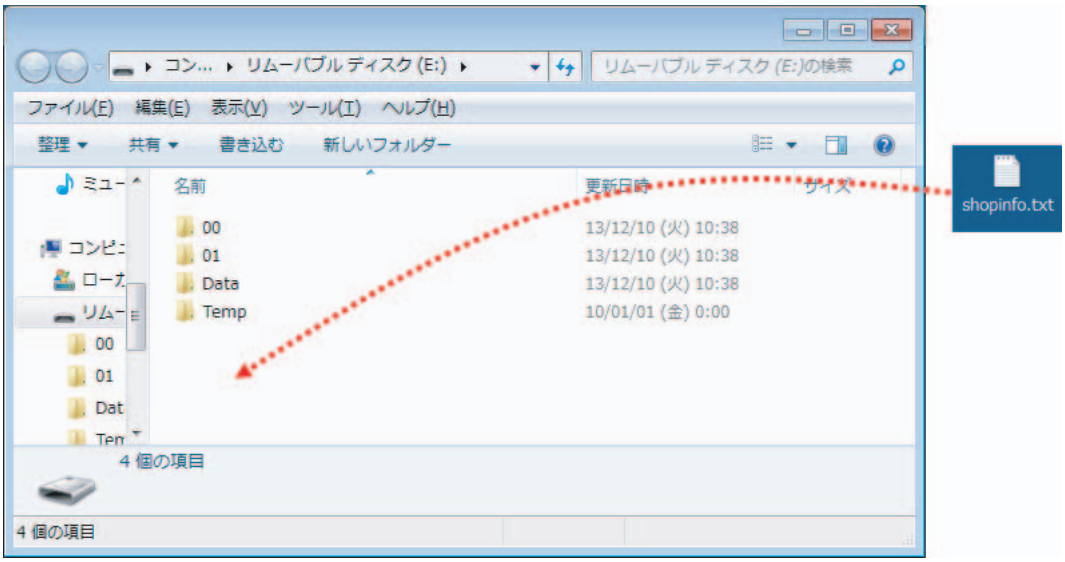
ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- テキストエディタのフォントは「MS ゴシック」に設定してください。
- Windows 標準のメモ帳の場合、「書式」-「フォント」でフォント設定を確認・変更できます。
- その他のテキストエディタをご利用の場合は、ご利用のエディタの取扱説明書に従ってください。

4. DST-i から SD メモリーカードを取り出し、編集した「shopinfo.txt」を SD メモリーカードに保存します。

ｱﾄﾞﾊﾞｲｽ

- ご利用のパソコンに SD メモリーカード用のスロットが搭載されていない場合は、SD メモリーカードに対応したカードリーダが必要になります。



T02742J

株式会社デンソーセールス

株式会社デンソーセールス	〒150-0046	渋谷区松濤 2 丁目 15 番 13 号	03(6367)9666
北海道支社	〒003-0022	北海道札幌市白石区南郷通 21 南 4-15	011(558)7800
東北支社	〒983-0036	仙台市宮城野区苦竹 2 丁目 6 番 1 号	022(238)9915
青森支店	〒038-0003	青森市大字石江字江渡 18 番 34 号	017(761)1177
関東支社	〒338-0013	さいたま市中央区鈴谷 4 丁目 4 番 1 号	048(840)1177
栃木支店	〒321-0911	宇都宮市問屋町 3172-52	028(657)7880
茨城支店	〒310-0842	水戸市けやき台 3-48-1	029(304)1002
千葉支店	〒261-0026	千葉市美浜区幕張西 3 丁目 1 番地 9 号	043(299)1188
横浜支店	〒224-0045	横浜市都筑区東方町 340 番地 1 号	045(470)1177
新潟支店	〒950-0993	新潟市中央区上所中 3 丁目 14 番地 13 号	025(282)1177
中部支社	〒457-0828	名古屋市南区宝生町 4 丁目 30 番地	052(619)1432
北陸支店	〒930-0010	富山市稲荷元町 1 丁目 6 番 15 号	076(443)1303
静岡支店	〒420-0810	静岡市葵区上土 1 丁目 1 番 84 号	054(267)0770
長野支店	〒381-0101	長野市若穂綿内南條 87-3	026(282)7300
関西支社	〒530-0044	大阪市北区東天満 1 丁目 7 番 19 号	06(6355)3871
京都支店	〒601-8136	京都市南区上鳥羽岩ノ本町 15 番地	075(662)8813
神戸支店	〒651-0083	神戸市中央区浜辺通 2-1-30　三宮国際ビル 3 階	078(262)8700
中国支社	〒730-0025	広島市中区東平塚町 4 番 21 号	082(242)5202
岡山支店	〒700-0941	岡山市南区青江 6 丁目 6 番 13 号	086(262)9918
四国支社	〒760-0065	高松市朝日町 3-6-3	087(821)9750
九州支社	〒812-0015	福岡市博多区山王 2 丁目 6 番 35	092(412)1185

株式会社デンソー

株式会社デンソー	〒448-8661	愛知県刈谷市昭和町 1-1	0566(25)5511 （番号案内）
DST サポートセンター			052(619)1928

ST-i

スタンダードソフト
取扱説明書

初版　　2011 年 10 月
第九版　　2014 年 12 月